



子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）

平成30年度要求額
6,474百万円（4,494百万円）

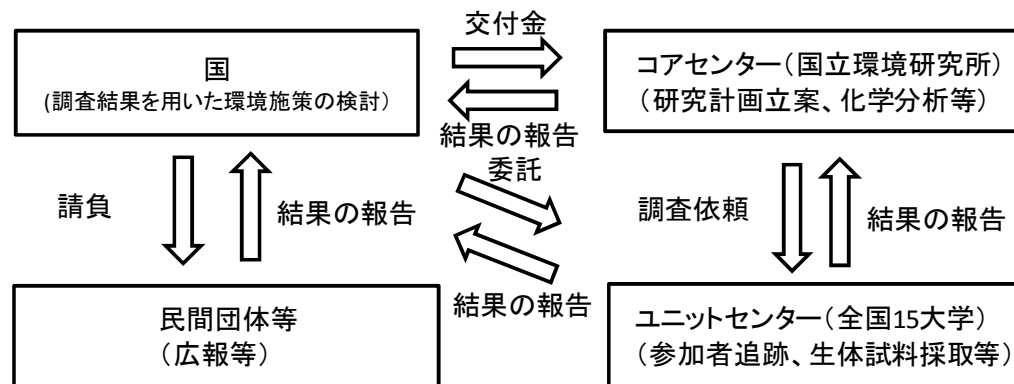
目的・事業概要

胎児期から小児期にかけての化学物質曝露が子どもの健康に与える影響を解明するために、長期的な追跡を行う大規模な疫学調査。事業は、平成22年度から平成44年度まで実施予定。

期待される効果

環境中の化学物質等の環境要因が子どもの健康に与える影響を明らかにすることにより、適切なリスク管理体制を構築し、安心・安全な子育て環境の実現と少子化対策への貢献に繋げる。

事業スキーム



事業目的・概要等

コアセンター（国立環境研究所）
（研究計画立案、化学分析等）

調査依頼

ユニットセンター（全国15大学）
（参加者追跡、生体試料採取等）

イメージ

事業内容

10万組の参加登録
※平成26年3月20日、
10万人(母親)に到達

妊娠初期・中期

- ・インフォームドコンセント
- ・妊婦血液、尿の採取
- ・質問票調査



出産時

- ・母の血液・毛髪、父の血液の採取
- ・出生児の健康状態を確認
- ・ろ紙血（出生児）の採取
- ・臍帯血の採取



1ヶ月時

- ・赤ちゃんの毛髪の採取
- ・母乳の採取



13歳の誕生日まで

- ・質問票調査（半年ごと）
- ・面接調査（数年ごと）
- ・環境試料の採取



- ・化学物質等の測定、分析
- ・生体試料の長期保存 等

- ・遺伝要因、生活習慣要因、
社会要因等と併せて統計分析

安全・安心な子育て環境の実現



※2016年のG7富山環境大臣会合において高く評価され、推進すべきとされた。